

オプション検査 : C 型肝炎

検査の内容

血液中のHCV抗体の有無を調べます。C型肝炎ウイルスに感染すると、体内にHCV抗体ができます。ただしこの抗体があるからといってC型肝炎ウイルスの感染に対する免疫ができていたとは限りません。

検査でわかること

これまでに**C型肝炎ウイルス**に感染したかがわかります。

陰性なら感染は否定されます。

ただし、C型肝炎は感染から1～3ヶ月ほど経過しないと陽性反応となりません。感染直後にしても陰性となります。

HCV抗体検査が陽性の場合、これまでにC型肝炎ウイルスに感染したことを意味します。

この検査が陽性でAST、ALTの値が高い場合、C型肝炎の可能性が高いといえます。

現在、体内にウイルスが存在するかどうかはHCV-RNA定性検査で確認します。